



## やってみよう

今回で2回目、マリアニスト家族の便りを書かせていただくことになりました。まだ覚えています、初めの時、日本に来たばかりで、まだ志願者でした。その時 何を書いたかと言いますと、「日本に来てびっくりしたこと」だったと思います。

今回、私は今やっている使徒職について皆さんに分かち合いたいと思います。去年の12月から東村山修道院の隣にある暁星幼稚園に派遣され、幼稚園の仕事を始めることになり、初めての体験が始まりました。初めてのことですから最初はどうか分らない、私にはできないと本当に思っていました。子どもの名前がなかなか覚えられなくて、何ちゃんと呼ぶ時、顔を見ないで上履きかシャツかズボンを見て呼んでいました。名前が書いてあるからです。それでも字が薄くなってよく見えなくて、なかなか読めなくて困ったこともあります。顔と名前が一致しないため間違っ呼んだりして、子どもたちは不思議そうな顔をしながらもなんとか理解してくれます…今シスターは困っていると。でも、いつの間にか100人近い子供の名前を覚えるようになり、子どもとの会話ができるようになり、お互いになじんできました。

暁星幼稚園はいろんな子どもを預かっています。かわいい三歳未満児から預かっています。普通の子供もいれば装具を付けないと立てない子とか、自閉症とか発達障害とか多動性の子供も何人かいます。そのため幼稚園の雰囲気があたたかいのかもしれない。ここに来る前は実際に障害を持つ子との関わりを持つ機会が全然なかったのです。障害を持つ子は恵まれない、かわいそうだなと思っていました。でも、ここで実際そういう子と一緒にいて、見て、遊んで私の考えが変わりました。恵まれない子どもという考えより特別な子どもたちなのだと思うようになりました。眠っている私の肉の心、愛の心、感謝の心を目覚めさせてくれます。

日本の子供たちは小さい時から絵本を読む習慣があり、絵本を読んでもらうのが好きで幼稚園では先生に読んでもらうのが当たり前ですが、私にはそれができなくて、読んであげられないのです。いつも自分の読む力を自慢している私なのに…ひらがなが並んでいる絵本の前ではお手上げです。子どもたち

## Sr. グエン ティ リエン

は自由遊びのときに絵本をもってきて、シスターこれ読んで読んでと。バスの中でも今日もシスター絵本持ってこないの？ 絵本読んで読んでと。最初のころ、「シスターはね、今 絵本ちょっと難しいの。シスターは、今一生懸命日本語を勉強しているからね、日本語が上手になったら読んであげるねと」。そうしたらうんうんと頷きしながら分かりましたと言ってくれます。何か理由を探して逃げました。でも、時間がたつと、そういう言い訳がしにくくなってきます。最近、ちょっと読んであげるようになりました。ある時、私が読んでいたとき、聞いていた男の子がこう言いました「英語っばいねと」。隣の女の子がすぐに「英語っばくないよ、日本語だよ、だって私はわかるもん」と。英語っばいと聞こえるのもなんかわかる気がします。自分もなんか不自然な日本語だなと思いつつ読んでいますからです。わかると言ってくれるのもとても嬉しい…。

長い人生の中で初めてのことがたくさんあって、そして、誰だって初めは初心者なのだから、何でもやってみることが人生を豊かにしてくれます。「振り返るより振り向いて、掘り返すより掘り出して」、私が気に入っている歌の歌詞です。だから、どんな状況の中でも前進したいものです。



### 易しいベトナム語会話



メリークリスマス。 チュク ムン ザーン シン Chúc mừng giáng sinh  
あけましておめでとうございます。 チュク ムン ナム モイ Chúc mừng năm mới

主の平和！ チュク ピン アン Chúc bình an !

お元気で！ ズ ジン スック コエ ニュー Giữ gìn sức khỏe nhé !

また会いましょう！ ヘン ガップ ライ Hẹn gặp lại !



## Br. 山崎 貢



St. Francis Xavier

コロナウィルスが世界を変えてしま  
って3年。その間マリア会日本地区は、  
2020年12月20日に松本幸徳神父を、  
2022年4月25日に富来正博神父を見送  
った。両神父とも洗礼名はフランシスコ・ザビエル  
である。

松本神父とは私が志願院に入った日に初めてお会  
いしている。そのころ彼は志願者の係りとして長崎  
で働いていた。以来いくつかの修道院と一緒に生活  
を共にした。最後は暁星修道院で一緒に過ごすこと  
になるのだが、ただ私が暁星に異動したときには彼  
は長期入院中で、結果的に数ヶ月しか一緒になれな  
かった。亡くなる10年前くらいだろうか、彼は内  
臓の不調に悩まされ、以来、自分の健康と相談しな  
がら日々を過ごしていたように思う。若いころは快  
活だった性格は最後は殆ど見られなくなり、物静か  
な佇まいになっていた

感情表現が豊かというのか、心の中がすぐに表情  
に出てくる人であった。笑うと目が線になるくらい  
ににんまりとなり、不機嫌なときには表情がずっと  
消えていく感じだった。養成を受けていたころには  
わからなかったが、同修者として一緒に生活してみ  
るとわりと隙がある感じで、本人もそのあたりは自  
覚していたのか、生活の中では几帳面であることを  
心がけていた。彼からいただいた葉書やメモなどを  
見ると、一字一字が楷書で書かれていて、その几帳  
面さが如実に伝わってきた。

酒席が好きな人だった。そしてだいたい気心の知  
れた人と賑やかに呑むのが好きだったように思う。  
私も何度か声をかけてもらい、酒席を共にしたこと  
があったのだが、お酒を愉しむというよりはその場  
の雰囲気や会話を愉しむという席だった。

あれはいつのことだったか、当時東京の修道院の  
所属だった私が海星修道院に宿泊したことがあった。  
東京に帰る日の夕食後、松本神父が車で駅まで送り  
届けることになっていた。まだ東京～長崎間に寝台  
列車が走っていたころだったかもしれない。しかし  
彼は夕食のときにお酒を呑んでしまって送り届ける  
ことができなくなり、結局私はタクシーで駅に向か  
った。忘れられないエピソードである。

余談になるが松本神父のご母堂の実家は私の母の  
実家の近くで、そのような見えない縁もあった。

富来神父は私が志願院に入ったときの管区長だっ  
たように思う。したがって長崎の志願院にいたころ  
は殆ど接点はなかった。私がシャミナード修道院で  
生活するようになってから関わりが生じたと言っ  
てもいいだろう。

心の中に吹き荒れている嵐を表情に出さない人で  
あった。管区長、地区長として重責を担う中で日々  
受けていたであろうストレスを感じさせず、いつも  
穏やかにニコニコしていた印象がある。また人とは  
一定の距離を保ち、相手の領域に無遠慮に踏み込ん  
でくることはなかった。

甘いものが好きで、正月に食事当番が回ってきた  
ときには自分でイチから作ったお汁粉を振る舞って、  
皆が食べるのをニコニコしながら見守っていた。

地区長の責から解放されたあとは一時期韓国に渡  
り、そこで数年を過ごしたあとは札幌光星学園で働  
いておられた。

それぞれどのような思いで晩年を過ごしていたか  
聞く機会はなかったが、結果としておふたりともそ  
の命が尽きるまで学校現場で宣教活動に働いておら  
れたことになり、そのあたり、フランシスコ・ザビ  
エルの生涯と重なるような気がしている。



## マリアニスト 奉献の恵み

奥村 一美 (シャロンの花)

マリアニストとして奉献させて頂き1年を迎えよ  
うとしております。マリアニストの会を知り所属し  
て25年が経過しておりました。その間、何度か奉  
献しようと思いましたが何故か、その時が与えられ  
ませんでした。そして神様から時が与えられ改めて  
(マリアニストの) お勉強をして奉献の準備となりま  
したがコロナの為、2年が過ぎました。コロナ禍の  
中マリア会神父様のご配慮により奉献できた事は、  
私の人生で洗礼の次に大切なこととなりました。感  
謝でございます。

時の恵みはいつも神様の方から与えられます。人  
間の愚かさにより引き起こされたコロナ禍、戦争、  
自然破壊のある今の時代に奉献をした事。私自身何  
かの意味があると感じます。聖書にある様に人は人  
と出会って生かされている。貧しくとも満たされる。  
毎日を大切に聖母のご加護のもとで生かされていき  
たいです。

\*奥村一美さんは2021年11月3日に奉献をさ  
れました。



## アリアンス・マリアル 田中正江

今年の9月私が所属している聖イグナチオ教会で、二人のイエズス会の会員が司祭に叙階され、私はその様子を YouTube で見ました。

叙階式の最後にこの度叙階された司祭の方々が、ご両親、召命の道を歩み始めてから叙階式まで関わって下さった方々、参列した人達、インターネットを通して見ている私達に至るまで全ての人一人一人に輝く笑顔で感謝を述べられました。それを見ていた私は不遜にも「私、この気持ち分かる」、そういう思いが心の中に湧き上がって来ました。

この二人の新司祭には、人間的にも祈りと学びの過程もとても及ばない私ですが、この叙階式を見ながら私の終生誓願式（1 度目 [★]）の時の思いが湧き上がってきました。AM の会員として終生誓願宣立の許可が出た時、終生誓願式の準備をしていた時、長きに渡って召命の道を模索し、一度は奉獻者としての道を諦めていた私は、「マリアニスト家族の祈りと同伴によって、AM の会員として、マリアニストとして育ててもらった」という思いでいっぱいになり、終生誓願式の式次第にその思いを書き、私の養成に心身と多くの時間を注ぎ込んで下さった清水神

父様とシスター小林に、誓願式の最後に参列して下さった方々の前で感謝を述べさせて頂きました。あれから6年の歳月が流れ、今年 [★] の 12 月 8 日で



AM 入会から 16 年になります。

まだまだマリアニストとしても、AM の会員としても未熟で、お世話になった方々の思いに応えられていませんが、マリアニスト家族の方々と共にかげがえのない思い出を築きながら、祈りと奉仕の学びのうちに、マリアニストとして成長していけることを心から

望んでいます。（[★]AM は 2019 年にパチカンからの許可を受け、ボルドー大司教区の在俗会として歩むことになり、私は 2020 年 2 月 23 日、SM シャミナード修道院にてマリアニスト家族評議員立ち合いのもと再び終生誓願を宣立した。）

## MLC

## MLC 世界大会報告会が行なわれました

2022/9/17 と 10/1 シャミナード会議室



▲報告者；平田会長

9/17(土) 参加者；8 名  
10/1(土) 参加者；5 名（いずれも ZOOM 参加含む）（内容は同じ）  
[世界大会は教皇様の回勅 Fratelli Tutti を軸に 7/23~30 まで行われました。]

## シャミナード師に倣う

- \*時代は変わる\*歴史も変わる
- \*新しい形に向かい旅立つ
- \*全ての人を受け入れる（世界大会の報告書の「橋」のイメージからの抜粋）



▲報告書



▲zoom でも報告会に参加

## ●清水一男神父様の講座

## 「現代世界憲章を読む」

第三回— 2022 年 12/17 シャミナード会議室

時間；13:30 ~ 15:30

第四回— 2023 年 3/18 場所と時間 同上

## ●高田裕和神父様の講座

## 「典礼講座」

ミサ典礼が新しくなることを受けて、改めて教会の典礼を基礎から学び直します。日程は未定ですが、決まり次第お知らせします。

今年の教会暦も 11/27(日)より待降節を迎え一年が始まります。世界を共通で悩ませたコロナとの共存も新しい局面を迎え、新しい生活様式も広まり出しました。MLC もオンラインのみでは取り捨えない人とのつながりを再び対面で取り戻していければ、と思います。

## ●お知らせ

2022 年の 7 月に開催された MLC 総会で正式に信徒マリアニスト共同体 (MLC) の事務的所在地が〒102-0071 東京都千代田区富士見 1-2-43 シャミナード修道院 MLC となりました。これにより会費などを管理するゆうちょ口座がある郵便局もシャミナード最寄りの局に固定され財務の管理もしやすくなります。



# SM ニュース

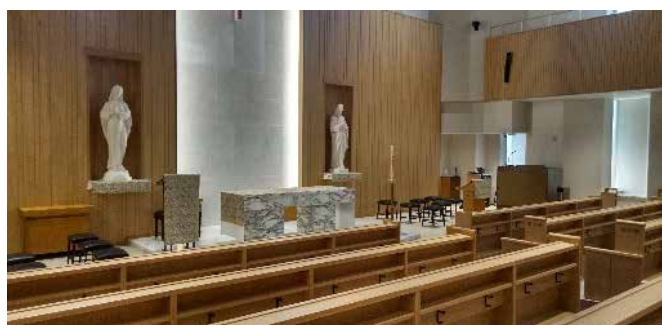
2 学期は、地区本部主催の諸会議  
同時にマリア会の宣教活動での行事が多い。



- 総長 アンドレ・ジョゼフ・フェティス師は、  
2022 年 10 月 2 日付で 市瀬 幸一師をマリア会日本  
地区の地区長として、第 2 期目の就任を日本地区の  
全会員に公布しました。
- 中高のエトワール会 10 月 1～2 日
- 学園聖堂開放 10 月 1～2 日
- 小学校の運動会 10 月 15 日
- 幼稚園運動会 10 月 16 日
- マリアニスト・スクール宗教部・宗教研修会  
10 月 20～21 日
- 地区召命司牧・養成担当者会議 10 月 26～27 日
- 暁星修道院 チャペル完成 10 月 28 日
- 134 年目の創立記念日 11 月 1 日
- 小学校の入学試験 11 月 2～4 日
- 幼稚園の入園試験 11 月 3～5 日
- 中学校の修学旅行 11 月 7～11 日  
広島 平和学習
- マリアニスト・スクール連盟総会・研修会  
11 月 16 日～18 日  
場所：長崎にて 当番校 海星学園



▲暁星修道院新聖堂



▲暁星学園新聖堂

(東京、暁星修道院関係を中心に)



▲ 11 月 1 日の創立記念日のデザイン  
カナの婚姻の「あの方が何か言いつけたら、その通りに  
してください。」  
マリア会が来日して暁星学園が創立され、134 年目を  
迎えた。



▲クラス対抗リレーの表彰式

## 訃報



Sr. ガブリエル・ド・マリー

石上 壽美江

2022 年 10 月 27 日 死去

享年 89 歳

修道誓願 58 年

姉妹は、修練期をアメリカで過ごされ、誓願宣立後は晃華学園における教職、ローマ総本部では財務部長、帰国後は、管区長、晃華学園理事長、小学校長と要職を歴任されました。重責の中にも、夏の陽に輝くひまわりのような笑顔を絶やさないう方でした。

姉妹のために、どうぞお祈りください。

■発行：日本マリアニスト家族評議会

問い合わせメール：[marianist.japan@gmail.com](mailto:marianist.japan@gmail.com)

ホームページ：<https://www.marianist.jp/>